

第4回新市の名称に関する小委員会次第

日時：平成16年3月6日（土）

第8回上越地域合併協議会終了後

会場：三和村スポーツセンター研修室

開会

1 審議

新市の名称について

2 その他

閉会

第4回新市の名称に関する小委員会 資料

第2回小委員会のまとめ(1/29)	第3回小委員会の意見(要約)(2/17)	論点のまとめ
<p>議論の内容について</p> <p>市名について、意見交換を行い、委員会としての共通認識を見出すための議論...変えない場合、変える場合を含めての共通認識や相違点を整理する。</p>	<p>(変えない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市という名前がついて既に35年近くたつ。その重みというものを皆さんと一緒に考えるべき。 ・上越線と間違わないために名前を変えることはいかがか。 ・上越市のままでよいが、上越市民の皆さんからも声が出て、新しい市の名称に変えるということになれば、それに異存はない。 ・変える前提ではなく、「上越市」という考えのもと、話し合いをした方がよい。 ・編入合併なので上越市でよい。 <p>(変える場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越新幹線と紛らわしい。 ・合併で新しくスタートすることから、市名も変更すべき。 ・上越市ではネームバリューがない。 ・合併する今しか市の名称を変更する機会がないのでは。 ・編入であっても気持ちは対等という観点から変更すべき。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市民の意見を尊重すべき。 ・上越市そのものの名前も尊重して審議を。 	<p>上越市の名称について</p> <p>共通認識：上越市の名称が「上越後」という歴史的由来からきていること。 ：上越市となってからの35年間の重み。</p> <p>相違点：(変えない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な由来を尊重し変えるべきでない。 ・名称の由来が違う上越新幹線(上州・越後)と一緒に議論するのはおかしいので、変えるべきではない。 ・編入合併では市名変更の事例がほとんどないことと、上越市となってからの35年の重みを尊重し、変えるべきでない。 <p>(変える場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越新幹線との歴史的由来は違うが、「響き」「ネームバリュー」といった点から混同を避ける意味で変えるべきである。 ・合併するのであるから、新しくスタートするという観点と編入であっても気持ちは対等(新設)との観点から変えるべきである。
<p>市の名称を考え、判断するための手法、手続きがいかにあるべきかの議論を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員参加で新市の名称について考えるべき。 ・アンケートを行うことがよい方法と考える。 ・アンケートの結果について、学問的識見を持った人の意見を聞く必要もある。 	<p>考えられる手法：・シンポジウム ・アンケート ・学識者の意見聴取 (*上記のような手法が考えられる)</p>
<p>その他の議論...市の名称についての議論を通じて、この市町村合併についての認識を深め、新しいまちの一体感が生み出されるような取組みが求められていることも考慮する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいまちの一体感が生み出されるような取組みをしてほしい。 ・どの市町村もそれぞれ地域性を生かしたまちづくりを進めてきた。14市町村による合併は、数が多く、面積も広いことから、急に一緒になると言っても、なかなか理解し得ない。新市名を考えながらお互いの理解を深めていけないか。 ・市名をみんなで考えていくことで、将来この広い地域がお互いに理解し合いながら発展が遂げられる。それが今目標に上がった協働のまちづくりであり、海に、山に、大地に、なりわいと文化あふれる20万都市、上越に近づけるのではないか。 ・市の名称の話し合いを通じ、14市町村がみんなで手をつなぎ合って新しい市をつくるという夢を語り合いながら、力を出し合うことで、すてきな市になるのではないか。 ・一番住民が関心を持っているのがこの新市の名称。 ・新市の名称の議論は、極めて格調の高い、文化的な要素を多分に占めている。合併する時に、新市の名称というのは大変意義深いことから、結論を急ぐのではなく、この大同団結した21万の新生市に、その名称はどうあるべきか、皆さんの心情を披露しあうべきである。 ・新市の名称を議論するにあたって、町村それぞれの代表であることの立場を超えて、新市の住民になるという、今、市町村の枠を超えた議論をする必要がある。 	<p>市名の議論を通じ、市町村合併について認識を深められてきており、一体感を生み出す取組みについても議論が行われている。相互の理解、尊重しあうことの重要性について認識を深めている。名称の論議を通じてよりよい合併を目指すことが話し合われている。</p>